

自治会が担っていること

自治会はさまざまな役割を担っています。どのような役割があるのか見てみましょう！

① 交流促進	お祭り・行事 	子ども会・敬老会 	② 施設の管理	拠点の管理 	神社・仏閣の管理 	情報共有
	③ 安全・安心	見守り 		街灯の管理 	防災 	④ 環境整備・美化



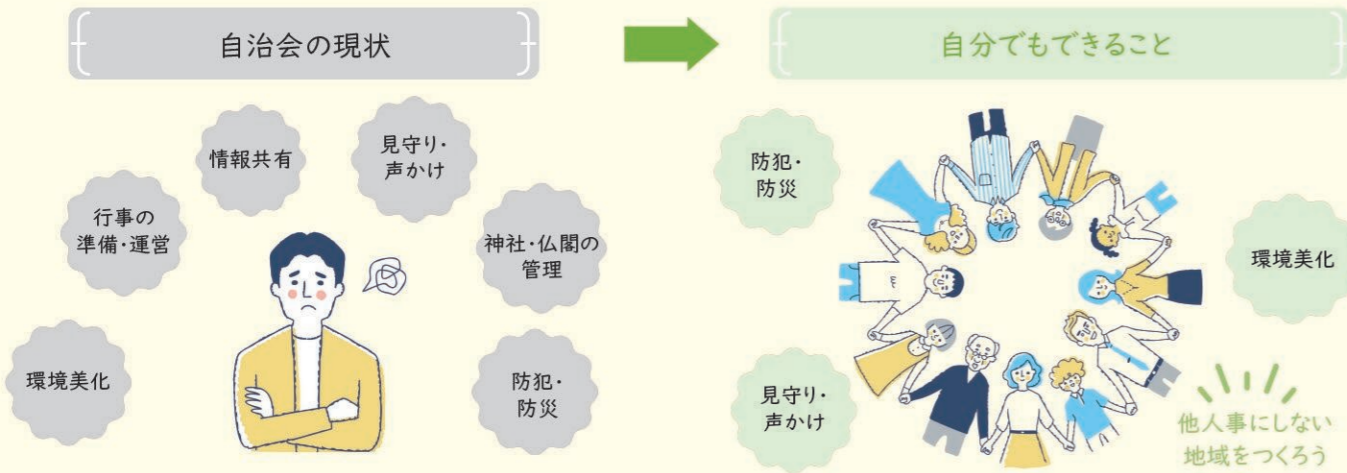
地域コミュニティー施設「いこいの家」代表 森田 和子さん

つながりを持った地域に

私は、過去に自身の病やそれに伴う療養生活など心身ともに深く落ち込む時期を経験しました。しかし、人と話すことで前向きな気持ちを少しずつ積み重ね、ここまで回復することができました。

こうした自分の経験から「誰かと話し、不安を吐き出すことで少しずつ元気を取り戻せる場所をつくりたい」と考え、年齢問わず地域の誰もが集まれる場所を作ろうとしています。親子で来ていただけるように子どもが遊べるスペースを作るなど、見守りも兼ねた誰でも気軽に立ち寄れる環境を整えています。ここは人と人のつながりが生まれるような楽しい場所にしたいと思っています。

みんなが一体となって取り組む未来の姿



ワークショップを開催します!!

皆さんの思いを聞かせてください

8月～11月頃に計7回 市内の各公民館で開催!

【内容】

「他の地域ではどんな活動をしているのか」「自分ならこれができるかもしれない」など、参加者同士で地域コミュニティーの現状や課題を話し、自分でもできることを考える

【問い合わせ先】市民協働推進課(☎66・1073)



一緒につくる 新しい地域のかたち

無理なくみんなで支え合い、
楽しく暮らせる地域づくり

◆自治会の現状
舞鶴市には現在362の自治会があり、その規模は10世帯以下から700世帯以上とさまざまです。「自分たちの町をもっと住みやすくしたい」という思いのもと、住民同士が協力して、安全・安心で心豊かな地域づくりを支えています。

しかし「人口減少」「少子高齢化」「共働き世帯の増加」といった社会構造やライフスタイルの変化により、自治会員の減少が深刻化し、組織の存続が困難になりつつあります。

一方で、自治会に求められる役割や機能は依然として変わらず、負担が大きくなっているのが現状です。

行政はこの現状を受け止め、これからの地域づくりに加わり「時代が変化しても、住みよい地域であり続けるにはどうしたら良いか」をともに考えるパートナーになっていきます。

◆新しい地域のかたち
住みよい暮らしを続けられる地域であるために「特定の誰かに負担が偏るのではなく、みんなが無理のない範囲で少しずつ支え合える」。そんな地域を目指していくことが重要です。

そこで「10年後にどんな暮らしをしたいか」をイメージするためにワークショップを開催します。皆さんの思いを持ち寄り、新しい地域のかたちと一緒に創っていきましょう。詳しくは、市ホームページで確認を。左下コードからアクセス可。

現在あり方を検討しているもの				行政が進めている取り組み	
各種会議の出席負担軽減	不燃ごみの立ち番任意化	補助金申請の簡素化	回覧板のあり方(デジタル化)	選挙立会人の公募	回覧板のホームページ掲載